



一関居館の時の太鼓(一関市 長昌寺蔵)

(真夜中)、暁八ツ、暁七ツと12の時刻に毎時時を告げるのでございます。御居館の「御土圭の間」にある櫓時計によって、係が打つ時刻を知らせてくれますので、それに従って打つのでございます。手慣れた仕事ですが、たまには間違いもおこるのでございます。

手前どもの間違いをお話しするのは他の二人にも悪いので、ちよいと気が引けますが随分昔の先輩の話をいたしまして。今から40年も昔、文政の8年ごろのことでございます。時太鼓打に佐惣治というお人がおられて、8月の十五夜のことだったのでございます。中秋の名月にみとれて我を忘れてしまったのがすかねえ。春のころにも打ち方が不都合だときついおしかりをいたされて、6月にも同じような失敗をして、罰金500文と罰として非番の時に辻番所で15日の番を命ぜられておりました。何力月かで3度の落ち度となり、ついに20日の牢屋入りとなつてしまったのでございます。これ随分と懲りたのですが、2年後にまた暁七ツの太鼓を打つのを忘れてしまい、またまた罰金500文と非番の時に会所の使番10日の処分をうけたのでございませう。牢屋にまで入れたのに、もはや御上もお手上げといった始末のようであつたのでございます。ここまですと、同業の私どもも言葉もござりえん。いい度胸といひますか、また何と申しませうか

。ちなみにこのお方、次の年にも太鼓の打ち数を足りなく打つて、御咎の上会所の使番を仰せつかつております。ああ、春夏秋冬、嵐でも吹雪でも、夜中も明け方も太鼓を打たねえばならねえのでがす。

太鼓打は三人扶持の御扶持米をいただいております。一人扶持というのには年に1石8斗の玄米をいたたくのでございませう。玄米は六合摺といつて1升の粉米を6合になるまで摺り上げたものでございませう。これを三人扶持で5石4斗でございませうが、月割りにして4斗5升ずつ八幡下御蔵でいただきます。私には母と女房、御城下の塩問屋に住み込み奉公しておる息子と嫁入り前の娘がございませう。家の畑で豆や大根、葉物などをこしらえておりますが、かつかつの暮らしてがす。それでも、御城下に時を告げて、ひと様の暮らしの時々を引つ張る太鼓打の仕事はやめられねえのでござりませう。

さて、実は去年、御家は仙台の御本家様に従ひ、須川を越えて秋田で戦をいたしました。殿様も御歳25歳でございませう。殿様も御歳25歳でございませう。明治と改元されて天朝様の世の中となつて、御家の行く末もどうなることかとお噂でございませう。貞享3年から183年もの間御城下に毎日時を告げた「時太鼓」も、もしかしてという悪い予感がするの、私ひとりの思い過ぎでござりませう。べがねえ。

# 掲示板

## 剣道スポーツ少年団の団員募集

体と心を鍛え、礼儀作法が身につきます。一緒に汗を流しませんか  
◆活動日…毎週④17:00~19:00  
◆活動場所…南小学校体育館  
◆対象…市内の小学1~6年生  
◆会費…前期・後期ともに4000円  
◎問い合わせ先…一関少年剣道クラブ南風館・及川 ☎23-0090

## 09秋季硬式テニススクール

一関市テニス協会指導・強化部員が指導します。スポーツ保険は各自で加入してください。  
◆日時…9月5日~11月14日の原則毎週④(計10回)講習10:00~11:30  
◆会場…一関運動公園テニスコート  
◆内容…【子供(小・中・高)】3000円【大人(初心者のみ)】12人、5000円  
◆申し込み…市内スポーツ店および一関運動公園に備え付けの申込書で申し込むか携帯サイトから。一関市テニス協会事務局 ☎021-0821三関字外谷起182-6 <http://www.just.st/7117565>  
◎問い合わせ先…小野寺 ☎090-2795-4836、伊藤 ☎090-1060-3117※19:00以降

## ふるさと先人顕彰セミナー

老松ふるさと学校の第2回ふるさと学講座として開催します。  
◆日時…9月23日④13:30~15:30  
◆会場…御嶽山御嶽神明社(花泉町老松)  
◆内容…佐藤教昭さんによる講話、老松先人顕彰太鼓保存会の演奏  
◆定員…先着50人  
◆参加費…300円(高校生以下無料)  
◎問い合わせ先…佐藤 ☎82-3382FAX82-2461 <http://oimatsu.info>

## 第22回コールとしとらーず交流コンサート

◆日時…9月15日④10:00開演  
◆会場…ダイヤモンドパレス  
◆入場料…無料  
◎問い合わせ先…中里公民館 ☎21-2152

## おやこ体操

◆日時…9月19日④10:00~11:00  
◆会場…一関文化センター体育館  
◆講師…健康運動指導士・藤野恵美さん  
◆対象…0~3歳児のお子さんと保護者  
◆持ち物…バスタオル、上履き、飲み物、着替え  
◆申し込み…事前に保護者氏名、お子さんの氏名と年齢をお知らせください  
◎問い合わせ先…おやこ広場(市民活動センター内) ☎/FAX26-6400

## いわい美術展2009小品展

◆日時…9月3日④~6日④10:00~17:00(最終日16:00まで)  
◆会場…蔵のひろば(田村町)  
◆展示作品…油彩・水彩・日本画・版画、染織など  
◆入場料…無料  
◎問い合わせ先…いわい美術振興協会事務局・及川 ☎23-3824

## 太極拳・中国語・中国の歴史の各講座

開講期間は9月から12月で、会場はいずれも一関公民館です。  
◆太極拳講習会…第1・第2・第3④18:30~20:00  
◆中国語講座…第1・第2・第3④15:00~16:30  
◆悠久5000年中国の歴史講座…第4④18:30~20:00  
◎問い合わせ先…日本中国友好協会一関支部事務局・島貫 ☎/FAX25-4167

## フリーマーケット・エコ商品出店者募集

「住まい・まちづくりフェア」「いちのせき環境フェスタ」にフリーマーケットや自然・環境・健康・地産地消などに配慮した商品を出店する業者を募集します。  
◆期日…9月26日④・27日④  
◆会場…一関市総合体育館  
◆出店料…1区画個人・市民団体1000円、業者・生産者3000円  
◆申し込み…住所・氏名・電話番号・販売品目を明記の上9月11日④までに郵送か電子メールで  
◎問い合わせ先…NPO法人グリーンハート・高橋 ☎029-3207花泉町野島字砂押75 ☎090-8780-9018 [office@greenheart.cdx.jp](mailto:office@greenheart.cdx.jp)

## 「百人一首競技かるたクラブ」会員募集

◆活動日…毎週④19:00~21:00  
◆活動場所…一関勤労青少年ホーム  
◆対象…どなたでも  
◆活動費…活動費実費と自治会費1000円  
◎問い合わせ先…一関勤労青少年ホーム ☎21-2144(平日13:00~21:00、土曜17:00~21:00)

## 第1回一関グランド・ゴルフ交流会

◆日時…10月5日④10:00~12:50  
◆会場…東台野球場  
◆募集人員…先着140人  
◆申し込み…クラブ単位または個人で、9月19日④まで下記に参加者氏名と代表者連絡先を申し込み※参加費は無料  
◆その他…プレーは12ホールを2回まわります。ルールは日本G C協会2008を準用しながら楽打会ルールを適用。用具は各自で用意してください  
◎問い合わせ先…一関が丘グランドゴルフ楽打会事務局・日下 ☎/FAX23-8294

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。次回10月1日号の締め切りは9月10日④です。詳しくは、本庁秘書広報課広報係 ☎21-8182へ。

## 一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページ<http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>

企画展  
時太鼓と城下町  
―江戸時代の時刻と時報―

一関の「時の太鼓」を中心に、全国の「時の太鼓」を紹介いたします。  
■会期…9月19日④~10月25日④  
【関連事業】

■開会式 9月19日④10時~12時(セレモニー、展示解説)

■展示解説会 ①10月4日④14時~15時 ②10月18日④14時~15時 ※入場券が必要

■東北太鼓フェスティバル「響け かわの里に 生命の鼓動」  
東北各県の太鼓団体やゲスト団体など16団体が競演します。

■日時…9月20日④10時~15時  
会場…一関市総合体育館 入場料…前売り：大人(中学生以上)1000円 市内ブレイクガイドで取り扱い、当日：大人1300円 問い合わせ先…黄金太鼓・須藤 ☎90(7564)8091

はくづつかんてんもくらぶ  
■日時…9月19日④13時30分~16時  
■参加料…3000円 定員…親子25人 要電話申し込み 持ち物…1袋の牛乳パック2個

あなたも刀鍛冶修業  
刀鍛冶の道具を使って、五寸釘でペーパーナイフを作ります。  
■日時…10月10日④13時~16時  
講師…早坂政義さん(刀匠) 参加料…2000円 定員…小学5年生以上20人(要電話申し込み)



根浅 宗兵衛

## ふなの雫 二十六

今年も、各地域の夏祭りが盛大に行われました。

一関夏まつりは、天候が心配されましたが大変盛り上がりました。子どもたちの大きな歓声が上がった花火大会、丹精込めて作り上げた七夕飾りが街並みを飾り、企業や自治会など29団体2000人近くが参加し楽しげに踊ったくるくる踊り、フィナーレを飾った大い関神輿祭では担ぎ手たちの熱気あふれる様子に感動しました。

最近では、地域のつながりや支え合いが薄れてきているといわれています。しかし力を合わせて神輿を担ぐ人々、手先をそろえて踊る人々を見て、一関市はまだまだ結いの気持ちが残っている、との思いを新たにしました。また、祭りを盛り上げる人々の中に、若者が多くいることに頼もしく感じました。私の任期も残りあとわずかになりましたが、この若者たちの力を地域づくりの場面でも生かせるはずだと、未来への希望を感じました。